

# 例会佳句

七月半ばには梅雨も明けて日差しが強くなり気温が急に上がって、夏本番となる。しかし、梅雨明けの時、集中豪雨、時にはどこに降るかわからないゲリラ豪雨となることがあるので要注意である。

梅雨は水道事業にとっては恵みの雨であり、水源を潤す。だが、降り過ぎれば水害、少なければ濁水↓水不足となり、市民生活は支障をきたすことになる。

学校は夏休みに入り、人々は海や山に出掛けバカンスのシーズンになる。また夏祭りが全国各地で繰り広げられる。青森のねぶた祭り、仙台の七夕、京都の祇園祭、徳島の阿波踊りなどが有名である。

八月は一年で一番暑さを感じる月である。熱帯夜が続いて寝不足になったり、窓を開けて寝入ってしまい寝冷えをしたり、暑さのため健康を損ないがちになる。熱中症にならないようにクーラーを利用したり、こまめに水分を補給するなど、健康管理に心掛ける必要がある。

ビールは大麦で作った酒精分の少ない夏愛飲される酒である。近年は年中飲まれるようになり、宴席の乾杯は大抵ビールで、季節感は薄らいでいるが、やはり暑い夏が一番であろう。

(「シツク」の俳句は全員互選の上位句)  
(四季の会 世話人)

短夜の子規を語りて白みたる  
噴水の穂先令和の空となり  
白藤の紛れきれざるとの曇り

大阪 加藤 あや

ジャズの音と噴水の舞う京の駅  
巢の縁に並ぶくちばし燕の子  
緑陰や参る人なき古社

東京 坂本 秀浩

絵心を誘う一景麦の秋  
明易し一〇年ぶりの里帰り  
噴水のデートスポット恋広場

兵庫 高森 功一

早苗田や真白き富士の影置いて  
若者の肩寄せ合ひて大噴水  
寅さんの終りなき旅盆参り

千葉 加藤 浩雲

短夜や夢の続きを見たくても  
花みかん香りを繋ぐ潮の風  
分かち合う水の触れ合い青田風

神奈川 中本 萬里

文机に母のヘアピン明易し  
噴水の風の音聴く二人かな  
帯留は母の遺品や余花の午後

宮城 鈴木 わかば

職業は無職と記入新茶汲む  
短夜や日課を然りげ無くこなし  
麦飯を食みて令和を新たに

千葉 安彦 緑泉

紫陽花をかすめる電車きしむ音  
乙女らが姉さんかぶり花林檎  
噴水のしぶきを浴びて子ら遊ぶ

東京 中西 麦人

短夜や羊の群れが途切れずに  
噴水の放物線が彩を曲げ  
朝採りしトマトサラダに彩を添え

東京 坂本 州賢

通り風噴水ミストに戯れをりし  
花菖蒲揺れる蕾に娘を重ね  
座り皺伸びる間もなし短夜かな

神奈川 阿部 勝漕

夏陽浴ぶ開聞岳や海出し  
短夜や係留ヨット揺れ止まず  
幼子の噴上げ高さ定まらず

東京 北詰 南風

産土の由来を秘めて泉沸く  
百合咲いておらが国さの庭らしく  
万緑に萬灯映えて九段かな

千葉 門脇 耕水

水道・下水道人の俳句の会 「四季の会」 入会歓迎

申込先 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-9  
日本水道会館内 日本水道新聞社気付  
「四季の会」世話係 まで